

都市計画マスタープランは、概ね20年後の都市の将来像を展望しつつ、長期的な視点に立った都市づくりの方針を示すもので、市民や事業者の皆様と共有する“まちづくりのビジョン”としての役割を担います。

近年、人口減少社会の到来や少子高齢化の進展、頻発・激甚化する自然災害や気候変動への適切な対応、技術革新の急速な進展など、都市を取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。こうした社会経済環境の変化に対応するため、宜野湾市都市計画マスタープランを改定いたしました。

## 全体構想

「土地利用」「交通体系」「水と緑(公園・緑地など)」「都市環境」「安全・安心」「基地跡利用」の分野別方針と主要施策を定めました。

### 1.土地利用の基本方針

- 既存住宅地の“質”の向上
- 暮らしの利便性を高め、にぎわいを創出する商業・業務地の機能強化
- 市の活力創出に資する土地利用の推進
- 自然的土地利用の管理・保全・活用

### 2.交通体系の基本方針

- 都市の発展を支える道路網の形成
- 持続可能で利便性の高い公共交通網の充実

### 3.水と緑の基本方針

- 公園・緑地の適正管理と新規創出
- 魅力ある親水空間の確保

### 4.都市環境の基本方針

- 上下水道の適正管理
- 公共施設の適正配置
- 人と環境にやさしいまちづくりの推進
- 都市の魅力を高める景観づくり

### 5.安全・安心の基本方針

- 自然災害に強い都市づくり
- 防災・減災に向けた環境づくり
- 市街地環境の安全性確保

### 6.基地跡地利用の基本方針

## 地域別構想

市域を7つの地区に区分し、より詳細な都市づくりの方針を定めました。



## 各地区の将来像

- ①北地区(喜友名、新城、普天間、野高)**  
歴史・文化と暮らしやすさが調和したにぎわいのまち
- ②西地区(宇地泊、真志喜、大山、伊佐)**  
多彩な地域資源を活かした利便性の高い交流のまち
- ③南地区(真栄原、嘉数、大謝名、上大謝名)**  
水と緑と眺望を活かした暮らしと交流が共生する安全なまち
- ④国際学園都市地区(宜野湾、長田、我如古)**  
人がつながる多世代交流の拠点  
魅力と活力あふれる国際学園都市
- ⑤東地区(中原、愛知)**  
健康・福祉機能を活かした安らぎと憩いのまち
- ⑥西普天間住宅地区、インダストリアル・コリドー地区**  
高次都市機能を核とした水・みどり・文化が調和するまち
- ⑦普天間飛行場跡地地区**  
中南部都市圏の新たな振興拠点の形成  
宜野湾市の未来を拓くまち

### 【お知らせ】

都市計画マスタープランは、宜野湾市公式ホームページで公開しています。

